

かわみなみ



議会だより

No.128
令和2年(2020年)
6月1日発行



川南PLATZ(地域活性化拠点施設)
4月19日グランドオープン

令和2年度の事業は



トロンバス

免許返納者に乗車券5,000円支給 総額404万円

令和2年度免許返納者にトロンバス、タクシーどちらでも使える利用券(5,000円)を200人を見込んで配布。また免許証を有していない75歳以上の高齢者で、希望される方にトロンバス回数券2,000円を交付するもので対象者は1,523人となる。

【委員会意見】5,000円の利用対象者は、令和2年度免許証返納者に限るが、昨年、高齢者の事故多発にともない免許返納された方が多くいるので、遡及して交付願いたい。

令和6年度に完成予定

5ヶ年計画で下野田・勝司ヶ別府線拡張工事が開始

事業中断されていた利用者の長年の夢であったさざんか住宅西側の下野田線。今年度は8300万円の下野田橋の工事を着工する。



下野田・勝司ヶ別府線

住宅リフォーム補助1941万円

今年度は補助金を川南町電子地域通貨(chiica)で助成する。上限20万円、補助率は1/3となる。地域通貨はカード又はスマホのアプリを使う。

【委員会意見】このようなカード・スマホでの補助金は、高齢者の方々に受け入れてもらえるか？

混乱が生じるのではないか？これからのキャッシュレス時代に向けて実証的にやる事も必要だがくれぐれも利用する住民の理解、加盟店への周知など万全を期する様意見を付した。

なお、後日、商工会商品券でも扱われることになった。

二転三転した川南別館建設始まる PPP(公民連携)事業を活用

川南別館(西地区自治公民館)建設計画がようやくまとまった。民間活力による建設で、建設費は9115万円、町は10年間のリースで借り受ける。令和2年度の賃借料は、940万1千円。町独自で建設した場合と比較して、約1千万円の軽減となる。年間の維持管理費は、民間の負担となっている。10年後は無償で町に譲渡が予定されている。

【委員会意見】民間活力による施設整備は川南町としては初めての取り組みである。リース契約条項をしっかりと精査し、将来的に町に損失を与えることのないようにという意見が出された。議案提出に一貫性が無く長期化した事に指摘があった。



建設予定地は現川南別館の西側空地

総合福祉センター

令和4年10月の竣工目指す!



イメージ図

町民の念願であった、総合福祉センターが3年計画で建設スタートとなる。

【施設概要】
・敷地面積4517.79㎡(1,369坪)
・延床面積2579.65㎡(781坪)
・建築面積1432.6㎡(434坪)
・総建設費は16億9707万円
(令和2年度事業費は6億9792万円)

- 福祉課
 - 病児・病後児保育室
 - にぎわいスペース
 - 地域包括支援センター
 - ボランティアルーム
 - 子育て支援センター
 - オープンキッチン
 - 社会福祉協議会
 - 配食サービス施設
 - 各種福祉相談室等
- 【委員会意見】総合福祉センター運営にあたっては、利用者に対する接遇の向上をはじめ、事業改革がより一層求められる。

新規就農者支援事業 1552万円 トレーニングハウス

目的 意欲ある新規就農者が就農前に生産技術を習得し、スムーズに営農を開始して町内定住につなげる。

受入状況(町外者)

- 1期生 平成30年7月 5名(2名研修中止)
- 2期生 令和元年7月 5名

品目 さららピーマン

内容 研修生は2年間の研修後にトレーニングハウス周辺にハウスを建設する。建設費負担割合は国5割・町2割・JA1割で残りの2割の残高を15年間のリースで貸し付けを受け就農する。



坂の上のトレーニングハウス

公民館長手当は交付金で支給

・各地区の交付金は、均等割190万円と世帯割(700円×世帯数)及び施設管理交付金の合計で交付

- ①各自治公民館の活動交付金は
- 中央地区自治公民館 329万2千円(1902世帯)
 - 西地区自治公民館 297万円(1414世帯)
 - 山本地区自治公民館 236万6千円(580世帯)
 - 東地区自治公民館 263万7千円(967世帯)
 - 通山地区自治公民館 283万8千円(1282世帯)
 - 多賀地区自治公民館 242万7千円(666世帯)

②上記金額に館長手当として年俸172万円と統一した金額が加算され、前年度まで町から館長へ支払われていたものが今年度から各自治公民館から支払われる。

【委員会意見】今後、自治公民館の一層充実した運営を期待する。

重度障がい者医療費助成 申請不要となる

- 重度障がい者の医療費の一部を助成する。
 - 月1,000円の自己負担が500円となる(一医療機関(調剤含む))。
 - 助成金申請が不要となり、便利になる。
- 令和2年8月からの実施予定、早期実現を望む障害者の声に応え、重度障がい者や保護者の経済的負担等の軽減により生活の安定と福祉の向上となる。

【委員会意見】1か月に一医療機関ごとに500円負担だが3医療機関を受診した場合、負担が増える方がいる事から対策を考えて欲しい。

条例改正等の主なもの

運動公園テニス場使用料改定

コート4面の張替え(砂入り人工芝に)並びに照明のLED化工事完了に伴う改定。

コート使用料はこれまで午前と午後各500円、全日1,000円から下表の通りに。

ナイター照明はコート1面毎の使用が可能になり、30分単位の使用料は従来照明1セット400円だったが、1面につき250円に改定された。



整備されたテニスコート

コート一面	対象	時間帯				
		8:00~12:30	12:30~17:00	8:00~17:00	17:00~19:30	19:30~22:00
一般	一般	720円	720円	1,440円	400円	400円
	児童生徒	360円	360円	720円	200円	200円

介護保険料が一部軽減

保険料率9段階のうち、1から3段階について、保険料が軽減される。

第1段階 生活保護者・世帯員全員が住民税非課税で前年の合計所得+課税年金収入が80万円以下の人
26,200円が21,000円に

第2段階 世帯員全員が住民税非課税で前年の合計所得+課税年金収入額が80万円を超え120万円以下の人
43,800円が35,000円に

第3段階 世帯員全員が住民税非課税で前年の合計所得+課税年金収入額が120万円超の人
50,800円が49,000円に

交通指導員に係る退職功労金の支給に関する条例が廃止

地方公務員法及び地方自治法の改正に伴い、交通指導員は特別職非常勤職員でなくなるにより、退職功労金支給に関する条例が廃止される。

交通指導員の活動は、今後、各自治公民館での活動となるが、町から活動に対する報酬は各自治公民館に交付され、自治公民館から交通指導員へ支給することになる。

番野地農村公園跡地を貸付

令和3年度、番野地保育所の民間委託に伴い社会福祉法人 敬神福祉会が隣接地(面積

1,284㎡(389坪))に新園舎の建設により令和2年4月1日から5年間無償で貸付ける。

通浜地区避難路整備

高台避難場所整備計画に510万円

通浜地区の避難路(旧金毘羅神社方面への高台及び坂道)の整備を行うものである。特に、通浜中央地区住民の方々の避難路としての利用が見込まれる。高台に上がるための階段幅を広げ、緩やかな傾斜の階段とする。また、避難路の途中に二か所の広場〔下段約100㎡(30坪)・上段約400㎡(121坪)〕を設け、そこに孤立することのないように通山方面へ上がる坂道(避難路)につなげる計画である。



通山方面へ上がる坂道(避難路)と広場

災害時避難用階段に照明設置

JR九州が通浜地区のえびす橋下に災害時避難用階段を設置した。これに伴い町は295万円でソーラー発電による照明を3基設置する。



通浜のえびす橋下の避難階段



ソーラー発電による照明が設置予定

4月臨時会

川南のコロナ対策は

①子育て世帯支援…2100万円

中学生以下の保護者に子供一人当たり10,000円を商品券で支給する。

②漁船燃料購入補助に504万円

セリ値が下落している漁業者にマグロはえ縄漁をのぞく80隻に対し、燃料購入費の2分の1(上限63,000円)を2ヶ月分補助する。

③飲食業に補助700万円

飲食業においては外出自粛に伴い売上減が顕著な事から、47店舗に補助する。

該当するものは飲食業、スナック、ホテル、仕出し弁当店等。

- ・均等割 50,000円
- ・従業員割 1人25,000円(週3日以上勤務)

- ・店舗面積 200㎡~999㎡に15万円
- 1,000㎡以上に30万円

【委員からの意見】

- ・計画では飲食業支援は商品券で補助する予定であったが、議員からの意見では現金で支給すべきとなり、結果現金支給となった。
- ・長期化を踏まえれば、今後も継続的に支援策を講じるように。
- ・諸事務手続きに関しては緊急事態を踏まえ早急に行うよう対応して欲しい。
- ・当初予算で決定した事業については早期に入札など行い事業するように。

聞いてみました

議案第17号 令和元年度川南町一般会計補正 予算(第6号)について

Q アフリカ豚コレラ侵入防止緊急支援補助金について、侵入防止柵の資材不足により年度内に設置できなかったとあるが、どんな資材なのか

A 公園等にあるメッシュフェンスであり、全国一斉に設置するための資材不足と防止柵工事に携わる人手不足も重なり繰越明許処理したものである。

議案第7号 川南町消防団員の定員、任免 及び服務等に関する条例の一部 改正について

Q 基本団員、機能別団員の募集のあり方について、団員のなり手がなく、この改正は得策であると思う。団員定数243名で現在団員数207名、徐々に団員が減っている中での配慮、機能別団員60歳以下ということである。団員定数の年齢別の割合をどう考えているか。

A 機能別団員は総数30名を見込んでいる。基本団員についても増やしていかなければならないが、機能別団員について、各部3名の10部あるので30名を確保していきたい



令和2年1月11日 川南町消防始式にて

議案第23号 令和2年度川南町一般会計予算

Q 自治公民館独自事業について、こういった要件で交付するのか。

A 自治公民館独自事業については、40万円を限度として、自主活動のイベント等で地域を盛り上げる取り組みについての支援を行っていくものである。

Q 車両ペダル踏み間違い加速抑制装置設置助成金についての要件について伺う。

A 車両ペダル踏み間違い加速抑制装置については、既存の車に後付けで取り付けるもので、市販価格4万円から5万円で、2万円を助成するものである。

Q 自治公民館活動費交付金2698万円について、自治公民館長の報酬も含まれているのか、館長の報酬単価は時間1,100円ときいているが。

A 含まれている。館長の報酬単価は今までは時間1,000円であったが、1,100円とし、9:00~16:00までの積算をしている。

Q 運動公園再整備委託料1000万円について、野球場整備委託料50万円について、4年に1回ある町民体育大会について

A 国体が計画されており、また老朽化もあり整備基本計画を作成し、来年度は基本設計を作成することになる。野球場整備については毎年行っている。町民スポーツ祭はロードレース大会とウォーキング大会を合わせて行うことにする。

Q 町民スポーツ祭、運動会は、今後は実施しないでロードレース大会、ウォーキング大会に振り替えると理解してよろしいか。

A 町民スポーツ祭を実施するにあたって、自治公民館長等の意見を伺った。選手集めに非常に苦勞し、選手が集まらない。何もしないよりは、ということでの計画である。自治公民館長の意見を大きく反映させた。

令和2年3月定例会・4月臨時会議案 賛否表

(○は賛成、●は反対、議は議長)		結果												
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		河野禎明	谷村裕二	中津克司	蓑原敏朗	徳弘美津子	児玉助壽	竹本正直	米田逸子	内藤昇	川上昭人	中村仲次	福岡浩一	河野浩一
定例会・臨時会議案														
賛否が分かれた議案(定例会)														
川南町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	議
川南町介護保険条例の一部改正について	可決	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
令和2年度川南町一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	議
令和2年度川南町国民健康保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
令和2年度川南町介護認定審査会特別会計予算	可決	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
令和2年度川南町介護保険特別会計予算	可決	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
令和2年度川南町後期高齢者医療特別会計予算	可決	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
地方自治法第180条第1項の規定に基づき町長において専決処分をすることができる事項の指定についての一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
賛否が分かれた議案(臨時会)														
専決処分の承認を求めるについて(川南町国民健康保険税条例の一部改正)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
専決処分の承認を求めるについて(令和元年度川南町一般会計補正予算(第7号))	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
全員が賛成した議案(定例会)														
川南町川南原地区国営施設応急対策事業基金条例を定めるについて	川南町監査委員条例の一部改正について	川南町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正について												
川南町消防団員の定員、任免及び服務等に関する条例の一部改正について	川南町使用料及び手数料徴収条例の一部改正について	川南町都市公園条例の一部改正について												
川南町重度障害者医療費助成に関する条例の一部改正について	川南町営住宅管理条例の一部改正について	川南町町道の構造の技術的基準を定める条例の一部改正について												
川南町水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	川南町交通指導員に係る退職功労金の支給に関する条例の廃止について	財産(土地)の無償貸付けについて												
令和元年度川南町一般会計補正予算(第6号)	令和元年度川南町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	令和元年度川南町漁業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)												
令和元年度川南町下水道事業特別会計補正予算(第3号)	令和元年度川南町介護保険特別会計補正予算(第3号)	令和元年度川南町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)												
令和2年度川南町漁業集落排水事業特別会計予算	令和2年度川南町尾鈴地区畜産用水管理事業特別会計予算	令和2年度川南町下水道事業特別会計予算												
令和2年度西都児湯行政不服審査会特別会計予算	令和2年度川南町水道事業会計予算													
全員が賛成した議案(臨時会)														
専決処分の承認を求めるについて(川南町税条例等の一部改正)	令和2年度川南町一般会計補正予算(第1号)													

一般質問

記事については質問者本人から提出された原文を基に作成しております。



自治公民館について ごみ問題について 障がい者支援策について

米田 正直

【問1】コミュニティ施設条例の〇〇別館とあるのは、今後何の別館を指すのか、「住民自治」と「社会教育」を包含した条例を制定する考えはないか。別館の利用・管理について伺いたい。

【答1：町長】6つのコミュニティ施設について、〇〇別館とあるのは、今後変更していく。別館は、住民主体による自治活動形成の拠点施設及び住民の福祉を増進するための施設で、自治公民館は自主的な組織で自由な意思で設立された任意団体であり、住民自治に対して法的なしほりがないので条例制定は考えていない。地域住民が自主的な運営ができるよう必要な支援を行っていく。

別館の利用については、自治公民館は利用の許可申請を町長に提出し許可をもらわなければならない。期間は自治公民館の場合は、常駐する関係で年間通しての許可となる。

【問2】社会教育法で、都道府県及び市町村の教育委員会の事務局に社会教育主事を置くことになっているにも拘わらず、現在、川南町は社会教育主事を置いていない。自治公民館活動や社会教育を推進していく上で専門職は必要ではないのか。

【答2：教育長】生涯学習係において、住民のニーズに応じた様々な活動がされ、また学校と地域の繋がりにおいて地域教育活動事業が展開されている。情報化の進展に伴い専門性を有することもあり、社会教育法を遵守するためにも今後、社会教育主事の配置については検討していきたい。

【問3】ゴミ分別等や搬出できない家庭についての対策はどうなっているか。

【答3：町長】ごみ出し困難な高齢者に対しては、職員が個別に粗大ごみ等を有料で回収している。

また、分別できない福祉を必要とする人についてはヘルパー等の支援をいただいている。

【問4】家電リサイクル法の対象電化製品（エアコン・テレビ・冷蔵庫・洗濯機・衣類乾燥機）の不法投棄の状況と廃棄する場合の手続き等の町民への周知は、また資源有効利用促進法による廃棄するパソコンの処理の仕方についても多くの町民が理解していると思われないが、その周知についてどうなっているのか。坂の上ごみ中継所にて、期日を定めて処理業者に来ていただき回収してもらう方法はとれないものか。

【答4：環境水道課長】不法投棄件数について、平成28年度7件、29年度4件、30年度4件、31年度8件となっている。町内に取り扱うリサイクル業者2店ある。不法投棄対策としても取り扱うシステム等についてわかりやすく周知を図っていききたい。坂の上でのリサイクル業者の回収については今後検討していきたい。

【問5】コミュニティバスを高齢者や障がい者にも利用しやすい乗降ステップの低床化について

【答5：町長】現在、3名の方が利用されている。事前に連絡をいただき、業者や周りの方々の協力を得て乗車していただいている。乗降ステップの低床化についてはすでにステップ台を設けて対応している。

【問6】障がい者等の重度化、高齢化や障がい者等の家族の緊急事態に対応するため、また地域での暮らしの安心感を担保し、親元から自立するものに対する支援等ということで、第5期川南町障害者福祉計画に地域生活支援拠点等の整備が上がっており、令和2年度末までに児湯圏域または町に1つを整備することになっている。その状況について伺いたい。特にショートステイ等の体制整備を早急をお願いしたい。

【答6：福祉課長】西都児湯圏域の状況については、厳しい状況にある。緊急時のショートステイ等の体制整備について、国立病院に受け入れ体制はできている。

響がでる。

【問2】この現状をどの様に捉えているのか

【答2：町長】かつて無い貿易の波にさらされている。

【問3】国が示した国内対策について

【答3：産業推進課長】肉用牛増頭奨励金は期末頭数から期首頭数を差し引いた繁殖雌牛増頭数へ支給、導入及び自家保留が対象となる。規模の小さな農家とは、飼養頭数50頭未満の事で、導入補助金は1頭あたり246千円、50頭以上飼養の農家は175千円支給される。畜産クラスター事業は国が収益力、生産基盤を強化し、国際競争力強化を進めるために生産コスト削減、規模拡大に取り組む事業で、牛舎、豚舎等の畜舎新築、機械導入等の補助事業だが、今後飼養頭数の要件緩和し、中小や家族経営農家も支援を受けやすくなる。事業着手まで3年要するので要望があれば早めに相談して欲しい。

【問4】生産基盤の維持、強化について（質問事項に対する答弁の主なもの）



本町畜産の生産基盤の 維持強化について

中津 克司

【問1】昨年末、環太平洋連携協定（TPP）が、そして今年関税がTPPと同じ水準まで一気に下る日米貿易協定が発効され、国内、県内の生産減少額試算が発表された。牛肉、豚肉の減少額が全体の8割超を占めており、生産基盤の弱体化が懸念される。

国の農業対策費以外に、町独自の対策も必要不可欠と考える。今後とも持続可能な農業を展開していくために、国の補助事業を活用しながら、どの様に本町畜産の生産基盤を整備し、維持、強化していく考えか伺う。

本町の生産減少試算額はいくらになるのか。

【答1：町長】畜産全体として12～14億円ぐらい影

町の経常収支比率は

荻原 敏朗

【問1】県は2018年度の川南町の経常収支比率を県内で悪い方から2番目の95.8%と発表した。経常収支比率とは毎年度、経常的に支出する人件費・扶助費・公債費に充てる一般財源が、収入する地方税・交付税の一般財源や減税補填債・臨時対策債に占める割合のことで、この数値が高いと予算を政策的経費に回せず社会経済情勢、行政需要の変化に適切に対応できない。何故こうなったのか、またどのような点に留意して財政運営をするのか。

【答1：町長】以前は75%に収めるのが良いと言われていたが、現在は85～90%が理想だと思う。平成30年度の経常収支比率の悪化は、こちらのミスがあって地方交付税3.8億円の過少交付の為に、それがなければ87.5%になり、我々の思う範囲だ。財政状況が数字的に良くても安定している訳ではなく、色んなことを考慮・分析して長期的な計画の中で進める。

【問2】公債費比率

本町の公債費比率は僅かだが10%超となっているが、町長はどう思うか。

【答2：町長】我々の資料では5.何%だが、担当課長に答弁させる。

【問3】それは実質公債費比率ではないのか。実質公債費比率と公債費比率では趣旨が違う。

【答3：総務課長】実質公債費比率は2018年7%で過去5年間は一けた台で、10年の内5年は10%を上

回った状況だ。今後、防災施設整備・更新による償還で若干高くなる。

【問4】臨時対策債

財政運営には公債発行（借金）は不可欠だが、町の借金には施設整備のためと赤字補填との二通りある。後の世代も利用する施設設備の為に建設債は後の世代も施設は利用し負担するべきだが、赤字債は利益は無く負担だけが残る。赤字債ともいえる臨時財政対策債をどう思うか。

【答4：町長】長期的な返済計画を持った上で積極的投資のために借金をする。

【問5】TPP11・日米貿易協定の影響は県は95億9千万円の生産額減少と発表した。本町の農業・漁業への影響はどう見ているのか。畜産以外はどうか、また対応は。

【答5：町長・産業推進課長】畜産だけは試算しているが、その他もどのくらい影響があるか数字で表すのは必要で、体制をとりながら検討したい。日米貿易協定の林産物・水産物への影響は県の資料では無いとなっている。対策は総合的TPP等関連政策大綱に基づき支援する。

【問6】CSF豚コレラ対策進捗状況は

過去の質問では農場に柵を設置するということがあったが、進捗状況は。それだけで十分か、またその他の対策はどうなっているか。

【答6：産業推進課長】柵は44農場中、1農場が完了、10農場が今年度中に完了予定。出入り口の消毒が必要で、家畜バイオセキュリティ関連事業を創設し、消毒装置を導入、防疫の向上に努めている。新しい情報が入ったら適切に対応する。

て提示し対処していく。

自営を目指す高鍋農高、農大校への進学者への支援は考えていない。

【問5】2019年度全国体力テストの結果、小中学生男女とも体力が低下しており学校体育だけでは限界があると言われていた。本町の現状と、体力向上に向けての具体的取り組みを伺う。

【答5：教育長】全国や県平均とするとやや低い結果となっている。体力向上プランを作成し取り組んでいる。

【問6】国中野球部の少人数での活躍は

【答6：教育長】部員10名、1年生3名内女子2名は素人、2年生7人で、教諭と外部指導者で指導している。背景には取り組む姿勢、チームワークの良さ、基礎基本の徹底、挨拶、礼儀、整理整頓、勉強、自宅での自主練習家族の理解、楽しく野球をしている子どもの心がけが大きい。



若者が住みたい町

徳弘美津子

【問1】25歳の同窓会を計画し2回目となっている。2月発行の議会だよりでの新春対談で、町長は「住めば都」という斬新的な発想で進める必要があるとは？

【答1：町長】座談会や、25歳の同窓会のときに言われたのは、「仕事はつくればいい、Wi-Fiとコンセントあればできる、都会だろうがどこだろうが一緒」と言われた。

我が町の特徴としてこの中心市街地に役場など様々な施設がある。いろんなことをこれから取り組める。

【問2】三、四年前に議会で長島町に行ったときに、ぶり奨学金といって、その町に住めば奨学金（銀行が貸し付けしている教育資金）を返さなくていいという政策があった。川南なら例えば、スイートコーン奨学金とか牛・豚・鶏の奨学金であるとか、企業がみんなで盛り上げていくという政策もあっていいではないか。

【答2：町長】ぶり奨学金からスイートコーン、牛、豚奨学金は斬新なアイデアだと思う。2月にリクルートと契約を結んだ。その中で町内の企業の求人情報なりを常時発信できる。

【問3】玄関に掲げる成人式会場や祝成人というのほりを団体や企業にスポンサーになってもらい会社名を少し入れて、川南の成人者を祝うムードがでるのでは。町外にいる子たちも帰ってくる。そういう成人者を教育課一つに委ねるのではなくて、みんなで盛り上げてほしい。

【答3：町長】看板については御指摘も受けている。

「待ってたよ」という思いを伝えることは大事なことだと思っている。

【問4】第1部について、成人者に対して講話ができるようなことができないのか。

【答4：教育長】今後検討していく材料になると考える。

川南PAに高速バスの駐停車場を

【問5】高速バスの駐停車場に川南PAは誘致できないか、打診をしているか。高速バスは延岡一宮崎間で運行されている。川南PAに拠点施設ができることで、高速バスの停留所として申請ができないのか、または申請しているか。宮交高速バスは、1日、上下各3本運行している。延岡は6カ所とまる。宮崎は5カ所所要所にとまる。車に乗ることが難しくなった高齢者が病院に行くのには、上下線とも利用ができるのではないか。

【答5：町長】申請は正式にしてない。宮交だけじゃ決められないが、スマートインターも含めてせつかくできた施設をこれからどうやって有効的に利用するか課題だ。

坂の上に生ごみ収集日を設けては

【問6】町の燃えるごみの出し方に沿わないごみ袋がごみステーションに残されている。生ごみに関しては、各地域にあるごみ集積場でしかできない。その登録した人以外の通りすがりの方がポイと捨てていることが多く見受けられ、皆様の不満となっている。坂の上のごみ施設に週に1回か2回程度時間を設定し、生ごみを含む可燃ごみの収集日を設けることは可能か。

【答6：環境水道課課長】住民の皆様から、生ごみをどうしたらいいんだという要望もある。坂の上生ごみの受け入れを可能なような形で検討していきたい。



開拓記念の日の制定について

川上 昇

【問1】この質問は3度目。開拓のまち川南町との認識を一町民として持っている。先人に対する気持ちを形で表現すべきではないか。町長は、「開拓は未来に向かうチャレンジだと信じるので、何らかの形でやったほうがいいという気にはなっている。」と言われたが、現時点での考えを伺う。

【答1：町長】我々の歴史としてしっかり次代につなげていくというつもりで進んで行く。三大開拓交流地の十和田市も矢吹町も決めていない。大事な先人に対する尊敬の念だと考えるのであれば、何がしかどこかでやるべき。

乗り合いタクシーについて

【問2】地域は人口が減少し少子高齢化が顕著。乗り合いバスは路線が縮小され便数も激減。タクシーは料金が高くて単独利用は厳しい。核家族化が進み、交通弱者は惨憺たる状況である。バスに比べタクシーは自宅まで送迎することに利便性を感じる。町として利用者の視点に立った取り組みが必要ではないか。

【答2：町長】乗り合いタクシーの長所はドア・ツー・ドアである。トロンボスの長所は、日曜祝日を除き8時40分から18時まで必要なときに利用できる。欠点は自宅からバス停までが遠いということ。不便な点にどう向き合えばいいのか常に考えている。

【答2：建設課長】近隣では都農町と木城町が乗り合いタクシーに取り組んでいて、その利点は自宅から町指定の乗降ポイント迄の往復が出来ること。今の利便性を維持しながら乗り合いタクシーへの移行は厳しいと感じる。

る町民を支援する手立てを考えている。

【問4】鳥獣被害対策、補助

山手の地区は、猿、鹿、猪、アライグマの被害が大変困ってる。特に猿の群れが多くなっている。猿は以前1頭捕獲すると25,000円補助があったが、今は8,000円なので捕獲数が減っている。補助を増やせないか。

【答4：産業推進課長】県から猿1頭8,000円しか補助金が出ない。色々意見を頂いているので県に増額を要請している。

【問5】地域活性化拠点施設の手数料は、青果18%、加工品22%だが、22%は高すぎるとの声が多く、出荷を見送る人が増えている。何故、22%の高い手数料をとる必要があるのか。

【答5：副町長】約7億円の投資をしているので、当初は、この手数料でスタートし、ある程度の期間を過ぎたら考慮したいと思う。

【問6】出荷者協議会の設置が必要ではないか。

自治公民館と振興班の連携について

【問3】自治公民館制に転換して丸6年。かつての振興班との関わり合いが希薄になった感が否めない。振興班を置き去りにした公民館についてどうお考えか。自治公民館活動や振興班活動は町主導で進めるべきと思うが、また、地域づくり大会は新旧振興班長大会と呼称を戻した方が町民には映りが良いと思うが。

【答3：町長】振興班との距離が遠くなったというのは何度も指摘を受けている。つながり辛いという言葉も聞いているので、しっかり課題として取り組みたい。町主導というより、歩み寄って支援する形を考えている。

【答3：まちづくり課長】どうすれば魅力ある大会になるのか、課で様々な意見を聞きながら検討中である。

今後の小・中学校のあり方について

【問4】学校は本来子供ファースト。2つの中学校の維持運営が、経費が非効率だから統廃合して合理化することが一丁目一番地か。町内の5小学校、建て替えの時期等どんな状況か。また、小中学校の統廃合を、運動して小中一貫校という手段もある。国のPFI事業として民間活力も導入できるという大きなメリットがあるが。

【答4：町長】一丁目一番地の件、仮にそうだとしたとしても、それを一番に持って来るのは趣旨が違う。子供たちの教育が一番だとの思いは変わらない。

【答4：教育課長】小学校の建物は30年を超えているものが多く、計画的に大規模改修等が必要。その観点からも、学校統廃合を絡めて考える必要がある。

【答4：教育長】小中一貫校を仮に各中学校区に造るとしても、生徒数の問題がクリアできない。部活動や学習環境等が整わないので2つに分けることは難しい。やるにしても小・中各1が一番良いかと思うが、理解が得られるかは今後の課題。

【答6：副町長】現在、出荷者協議会の設置の予定はない。

【問7】人口減対策に独身者に町外からパートナーを見つけることが必要だと思うが、町はどのような対策をしているか。

【答7：まちづくり課長】現在、民間に委託して活動している。

【問8】町の行事をビデオに撮って、後に町民の方から要望があれば、DVDで貸出しすれば非常に喜ぶと思うが用意が出来ないか。

【答8：総務課長】ビデオに撮った映像を貸し出すことは許可を得ないといけないので、難しいと思う。

【問9】昭和までに建てた家は、震度6強で倒壊の可能性があり、倒壊した家の下敷きになった人を助けるには、常日頃、準備、訓練が必要ではないか。

【答9：まちづくり課長】今年度、各消防団に必要な用具を用意し、倒壊した家屋から被害者を救助する訓練を予定している。



免許返納者への支援 交通弱者への支援

河野 禎明

【問1】免許返納者への支援、交通弱者への支援
木城町が週3日タクシーを借り上げて町民は1回200円で町内に限り利用できる。川南町は広いので1回300円で利用出来ると免許返納もしやすくなるし、トロンボスの路線外の町民も助かるので早急に実施できないか。

【答1：町長】免許返納者に対しては年間5,000円の補助、トロンボスの利用者は回数券20枚補助を考えている。

【答1：建設課長】トロンボス1日16名利用があるので、今暫くはトロンボスの運行を続けたい。

【問2】運動公園の管理

運動公園の管理は、町が観光協会に委託し観光協会が作業員2人に作業させているが毎朝、運動に来られる町民に聞くと管理が不十分と聞く。調べてみると、刈り取った草は数カ所山積みされたまま、所々刈り取られていない箇所がある。2月3日、児童公園内でボヤが発生し、消防車の出動があった。町は定期的に監視が必要ではないか。

【答2：町長】運動公園の事は、以前から指摘を受けている。担当の教育課と協議し、しっかり取り組んでいきたいと思う。

【問3】国民年金受給者への支援

国民年金受給者は、介護保険、健康保険、固定資産税、自動車の維持費等の支払いがあり、仕事をしなければ生活が苦しい状況。病気がかかったり夫婦のどちらかが亡くなったら非常に困る。町として支援策を考えているのか。

【答3：町長】生活困窮協議会を発足し、困ってい



ゴミの回収変更は全町民に伝わったのか

内藤 逸子

【問1】ゴミの回収変更は全町民に伝わったのか。

一月から二重袋は回収しないことになって、ゴミ置場は業者まかせにしていないか。二重袋で中身の見えないものが残され、カラスが袋を破って、生ごみが散乱して不潔になっている。西都児湯クリーンセンターに持って行き、そこから宮崎県の環境整備公社で焼却しているが市町村でゴミ収集に違いがあるのか。リチウム電池の回収はできるようになったのか。

【答1：町長】頑張っている人が困っている。丁寧にその都度説明をする。リチウム電池は回収するようになった。

【問2】ジェンダー平等社会を目指す取り組みはどのようなものか。

ジェンダーとは、一般的には「社会的、文化的、歴史的につくられた性差」と定義されているが、ジェンダー平等社会を目指すとは、あらゆる分野で真の「男女平等」を求めるとともに、「男性も女性も多様性をもつ人々」も「差別なく平等に尊厳を持ち、自らの力を存分に発揮できる社会を目指す」ことであるとされている。人権と民主主義の根幹にかかわる命題という視点が重要だと考えるが、ジェンダー平等社会をどう受け止めているのか。

【答2：町長】差別をなくして、全世界の共通課題として、川南町では男女共同参画社会をめざして、5年分の計画も作った。個性が発揮できる社会をめ

ざす。

【問3】安倍政権の「全世代型社会保障」は痛みを押しつけるものではないのか。

安倍首相は2019年9月、自らを議長とする「全世代型社会保障検討会議」を立ち上げ「社会保障全般にわたる改革」に向けた議論を進めている。その内容は、年金の大幅削減、医療・介護の負担増と、給付削減、病床淘汰の推進、保育予算の削減など「全世代」に制度改悪の痛みを押しつけるものだ。

①「再編統合の必要性について特に議論が必要」と名指しで424の公立・公的病院の実名を公表した。そのなかに国立宮崎病院と都農町立病院が入っている。

②マクロ経済スライドによる年金削減は、基礎年金の給付削減、短時間労働者への厚生年金の適用拡大や、支給開始年齢を受給者の選択によって遅らせる「繰り下げ受給」の柔軟化などだ。

③75歳以上の窓口負担を原則1割から原則2割に引き上げることが「全世代型社会保障検討会議」で検討され財務省の財政制度等審議会からもその実施を求める答申が出されている。

【答3：町長】制度は国で考えていくしかない。

【問4】町政運営方針

日高町長が就任して3期目の2年目、町民の暮らし向きはどう変わったのか。10年前と比べて、どうか。高齢化が進んだと思うがどう変わったのか。

【答4：町長】基本的には、町民の理解を求めながら取り組む。



町政運営方針について新型コロナウイルス感染症対策

児玉 助寿

【問1】3期8年目の所信表明で今後とも職員、町住民と意識改革を進め、共に考え、共に学んで行くことと公約しているが、今後は、その考え、学んだ知識を応用、実効し成果を上げるべきでは。

【答1：町長】いつまで学ぶのかという質問もあった。確かに、結果を出すのが町長の務めと思っている。ただし、学び考えることはこれからも生涯続けていく覚悟である。

【問2】「地域活性化拠点施設運営について」今後、町経済発展を牽引することが期待される。施設建設が、度重なる建設工事請負契約変更で、事業完了が遅滞している。新型コロナウイルス感染症の影響による先行き不透明な経済状況の中での、安定的な施設運営が危惧されるが、町経済を牽引するためにも、関係者がワンチームとなり、ふんどしを締め直し、ぶれない計画の基に施設運営の安定化を図るべきでは。

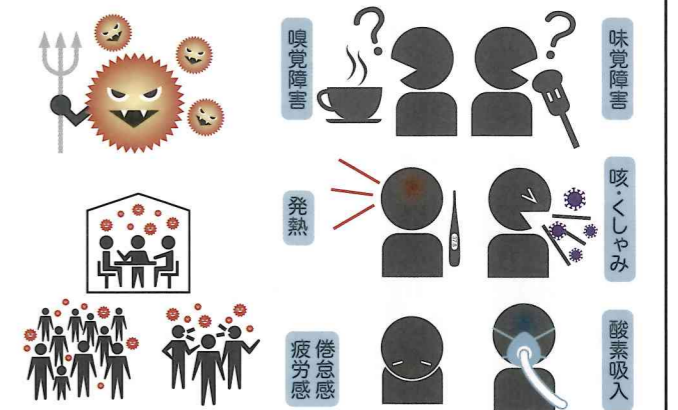
【答2：町長】変更に関しては、消費税の変更であり変更ではなく手続きである。その後1回変更しているので実質変更は1回で、今回の変更は本体工事が2月11日の工期で2月27日に完了検査が終了している。運営は副町長に答弁させる。

【答2：副町長】定例理事会でいろんな意見を出し合い、運営安定化を図るべく意見集約しているところである。コロナウイルス問題は深刻に受けとめており、いろんな危機はあっても、それを乗り越えるだけの総合力をいろんな方々の話を伺いながら乗り越えたいと考えている。

【問3】全国的に新型コロナウイルス感染症の発生が拡大する中で、隣町の木城、都農両町はいち早く感染症対策本部を設置し、その対応に当たっている。これらの類の感染症疾病の初動の遅れの恐ろしさは、町内の牛、豚全家畜の殺処分を陣頭指揮してきた町執行機関は、十分に承知していると思うが、両町に遅れる事2日後に対策本部を設置しているが、問題は無いのか。

西都児湯の検査を管理する高鍋保健所を中心に、西都児湯1市5町1村で対策本部協議会を設置し感染拡大防止等の協議を行い、この難局を乗り切るべきでは。

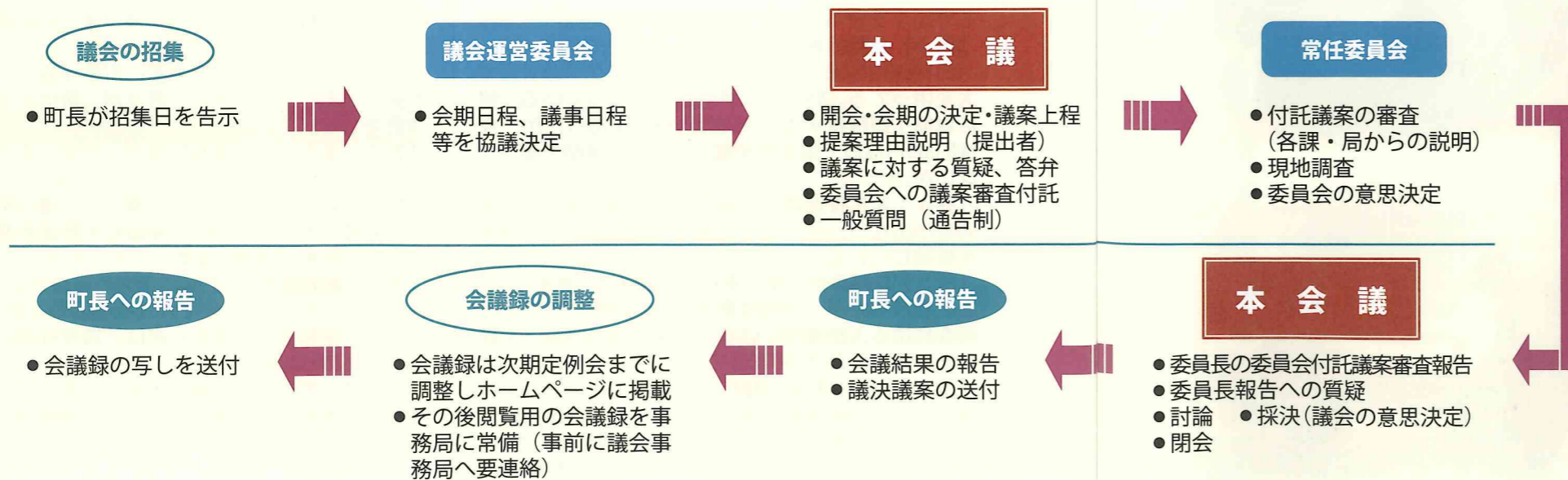
【答3：町長】去る2月20日に高鍋保健所管内の7市町村に加え、新型コロナウイルス感染症対策について連絡会議が開催されており、そこでは相談、受診の目安とPCR検査、医療機関の院内感染防止対策等について、国や県の考え方が示され、市町村には住民への正しい知識の周知を求められた。



【問4】現在、実績を上げている移住者優遇政策を、町内の若者に利用できる様特化できないのか。

【答4：町長】PRしながら町内に住んでいただく様に推進していきたい。

議会運営の流れ(定例会)



傍聴席から見た本会議場

意見交換会をしました

【第3回議会報告会を開催】

- ◇ 第3回議会報告会が、去る2月12日全議員出席のもと川南町農村環境改善センターで行われた。午後6時開会、そしてあいにくの雨模様にも拘わらず36名の皆様が来場され、粛々と予定していたスケジュールが進められた。
- ◇ 平成29年度に始めたこの議会報告会は、同年4月1日施行の川南町議会基本条例第4条第1項『議会は議会の活動に関する情報公開を徹底するとともに、町民に対する説明責任を十分に果たさなければならない。』、並びに第7項『議会は全議員の出席のもとに町民に対する議会報告会を少なくとも年1回開催して、議会の説明責任を果たすとともに、これらの事項に関して町民の意見を聴取して議会運営の改善を図るものとする。』との規定に基づくものである。

◇ 報告会の流れ

- ①全議員が自己紹介。
- ②副議長から『議会とは…』と題して、議会の立場、役割、機能など概略を解説。



- ③前期の常任委員長2人から、直近2年間に修正や否決された議案4件の内容や審査経過について概要が報告された。
- ④質疑
執行部に対する要望などもあり、時間不足の場面も見られた。
- ⑤後半…グループワーク
 - ・参加された皆様のご意見を頂くべく、小グループに分かれての意見交換会が行われた。
 - ・6グループに分かれて議員が進行・記録を担い、テーマは設けずグループ毎に自由に意見交換が行われた。
 - ・参加者はそれぞれ思い思いの意見を述べられたようで、全てのグループが活発に意見交換されていた。

- ◇ なお、この意見交換会に寄せられた皆さんのご意見ご要望は、次号(令和2年8月1日発行)に特集掲載します。



【木城町議会との合同協議会報告】



会場を交互に毎年実施している木城町議会との合同協議会が、2月27日に木城町役場大集会室で行われた。例年両町及び議会が抱える諸課題をテーマに活発な議論や意見交換がなされ事後の活動に活かされているが、今年は折からの新型コロナウイルス感染症の影響により研修会のみで開催となった。



講師の鈴木 毅氏

研修会は来賓の半渡英俊木城町長挨拶の後、全国町村議会議長会の鈴木毅議事調査部長を講師に『町村議会を取り巻く諸情勢』と題して講演頂いた。全国927町村を対象とする同会は毎年多岐にわたるアンケートを実施しており、集積したデータを参照しながら、全国的傾向を交えた興味深い講演であった。町村議会の実

態や現状、議員のなり手不足問題とその対応、議会改革など議会と表裏一体のテーマだけに、参加議員も真剣な眼差しで講演に聞き入りしきりにメモを取っていた。特に議員のなり手不足問題は町村のみならず地方議会の継続した課題であり、その対応は国を挙げて環境づくりに努めなければならない。また、議会の機能強化及び多様な人材を確保するための環境整備についても、同様に各自治体に相応した取り組みが不可欠であろう。



半渡英俊木城町長

今後とも様々な機会を通じて情報収集と研鑽を積み、私ども町議会の指標を導き出したいと考えている。

人事異動



事務局長
日高 裕 嗣

このたび、議会事務局長を拝命しました日高と申します。初めての部署ですが、議員の皆さんが議員活動に専念できるよう努めてまいりますので、よろしくお願いたします。



退職
山口 浩 二

4年間お世話になりました。多くの方々に支えていただきました。ありがとうございました。

人事案件



人権擁護委員(再任)
平田 順 一 氏

総務厚生常任委員会行政調査

住民自治について学ぶ 水谷東公民館 まちづくり協議会

概要…埼玉県富士見市
人口111,620人(52,054世帯)

◆**構成**…4つの自治会で構成、行政機関や地元の企業等が構成団体となり水谷東安心安全ネットワーク会議が平成17年に発足されている。

◆**背景**…

・この地区は柳瀬川と新河岸川の1級河川に挟まれた地区で、昭和時代、平成時代に大きな水害等の災害を経験し、防水、防火に対する意識がとて高い地域である。

・少子高齢化社会の進展、縦割り行政の弊害、地域活動の情報の共有化、まちづくり活動への参加機会の醸成等のことを課題に挙げ、協議会の原点となったとのこと。

◆**5つの部会**

①安心安全部会…非常災害対応訓練、合同防災訓練が実施されている。

②青少年部会…書初め教室等を開催、

③文化スポーツ部会…ノルディックウォークやラジオ体操等を実施、

④地域交流部会…新春の集いや広報誌の発行の実施

⑤高齢者部会…見守り広報誌発行、地域支え愛隊

事業、町会サロン支援が実施されている。

◆**ありがとう券**…地域支え愛隊の活動で買い物代行、庭木の剪定、風呂掃除、通院の付添、話し相手などをするもので、単なるボランティアではなく、「ありがとう券」1枚(1回15分、150円)を利用者が購入し、協力者に渡し、換金をするシステムである。利用者・協力者について支え愛隊の事務局に登録をする。また、その事務も支え愛隊が行っている。

◆**課題**…役員の高齢化進展で都会でも田舎でも同じと感じる。

◆**感想**…自治活動がこれのようにできるのも公民館との連携が取れていることも大きな要因である。当町は幸いに大災害の経験がなく、体験による地域コミュニティの不足は否定できない。その点も踏まえひとり一人が地域コミュニティの醸成に取り組まなければならない。



防災について学ぶ 東京都北区消防防災センター

日本の歴史に残る大地震の資料を展示され、その地震の体験コーナーがあり、地震の脅威を身に染みる。災害に対する各個人の心構えについて、講話と指導をしていただく。見学・体験・訓練を通じての防災知識を学習できる施設になっている。講話で注目したのは、令和元年に日本で起きた体に感じる地震の回数が1560回も発生しているということで、南海トラフ巨大地震がいつ発生し

ても不思議ではないということである。子ども達も楽しんで学べるタッチパネル式の防災クイズが用意されている。川南町独自でこういった施設建設は無理であると思うので、広域的に東児湯消防組合等で今後検討する必要がある。



川南の人口と推移

毎月1日現在の現住人口

	人口	転入	転出	自然増減		世帯数
				出生	死亡	
令和2年2月	15,336	46	28	5	20	6,245世帯
令和2年3月	15,336	34	26	7	15	6,256世帯
令和2年4月	15,259	104	167	10	24	6,257世帯

編集後記

新型コロナウイルス対策では、2回の臨時会が開かれ、支援が提案され可決されました。

定額給付金は対象者世帯数7,050世帯(総額15億5780万円)になりますが、5月8日に申請書が発行され、県内でもいち早い対応が出来たようです。5月中には88.7%の給付金が各世帯に振り込まれたようです。これから様々な支援策が講じられると思いますが、私たちも各分野の声が反映されるよう取り組んでまいります。 徳弘美津子

【委員長】徳弘美津子 【副委員長】谷村裕二
【委員】川上昇 内藤逸子 米田正直 福岡仲次

編集・発行 宮崎県川南町議会

〒889-1301
宮崎県児湯郡川南町大字川南13680-1
TEL (0983) 27-8017

発行者/川南町議会 議長
編集者/議会広報編集特別委員会
印刷所/ヤマキ印刷